

自分たちの町をもっとよくしたい。 その思いが荒地をゴルフ場に。

う じなひがし ち く ろうじん れんごうかい う じな
宇品東地区老人クラブ联合会 宇品パークゴルフ 広島市

緑地再生の切札になっ
たパークゴルフ場。

ゴルフに興じるプレーヤーを背景に、高齢者の方々が草刈りをしていました。ここは、宇品パークゴルフ場。周辺地域から多くの人が集まります。

旧国鉄宇品線の跡地で国が保有する宇品東四丁目地区の約1,000㎡は、かつてゴミの不法投棄の多い荒地でした。景観を損なうだけでなく、治安の悪化にもつながりかねず、住民の暮らしを脅かしていたのです。

「このままではいけない」「自分たちの町をもっとよく



したい」と地元の老人クラブのメンバーをはじめとする住民が集い、行政と一緒に緑地再生活動と美化環境づくりを始めたのが、「宇品パークゴルフ」が誕生したきっかけです。

「平成20年頃、この荒地を緑地再生することが決定し、広島市南区と老人クラブのメンバーなど有志が緑地の活用方法を検討した際、『南区にはないパークゴルフ場にしたらどうだろう』という案が出たんです」と、代表の中尾さんは振り返ります。

地域住民による1年以上にわたる地道な整備を経て、平成21年4月にパークゴルフ場としてスタートしました。

立ち足はかかる困難の数
だけ支援があった。

「広大な土地の整備作業は、手作業では限界がありました。パークゴルフ場は夢物語かもしれないと思った矢先に、

パワースイッチで協力してくれる方が現れ、草刈り、整地、小石拾い、芝生張り、作業は順調に進みました」と、中尾さんは語ります。

南区の委託を受けてパークゴルフ場の整備にあたる「宇品パークゴルフ」の活動は、月例会を毎月第2土曜日開催。草刈りなどの整備は毎週月曜日の午前8時30分～10時30分の約2時間行っています。パークゴルフ場は、1日平均16名が利用し、月平均で延べ480名がプレーしています。

現在、一般の人のパークゴルフ場利用料は無料ですが、会員からは年会費500円を徴収して運営しています。また、ホールインワン御祝儀も収入源となっています。

ゴルフ場の維持管理も
すべてボランティア。

パークゴルフ場は、現在では高齢者の健康づくりを支える

地域の拠点として、賑わっています。そのため、未長く利用できるよう、遊歩道の整備、芝刈りなどコース整備、草抜き、花壇の手入れなど、維持管理を行うボランティア活動の役割も重要度を増しています。

「会員数が年々増加しているので、利用スケジュールの適正管理が最大の課題です」と、中尾さん。誰もが楽しくプレーできるように、「宇品パークゴルフ」には整備以外にも取り組むべき課題があります。その解決に向けてどんなアプローチをすべきか検討を進めています。

